

経済指標レポート 第217号

(社)関西経済連合会 経済・経営グループ(担当:壺井)

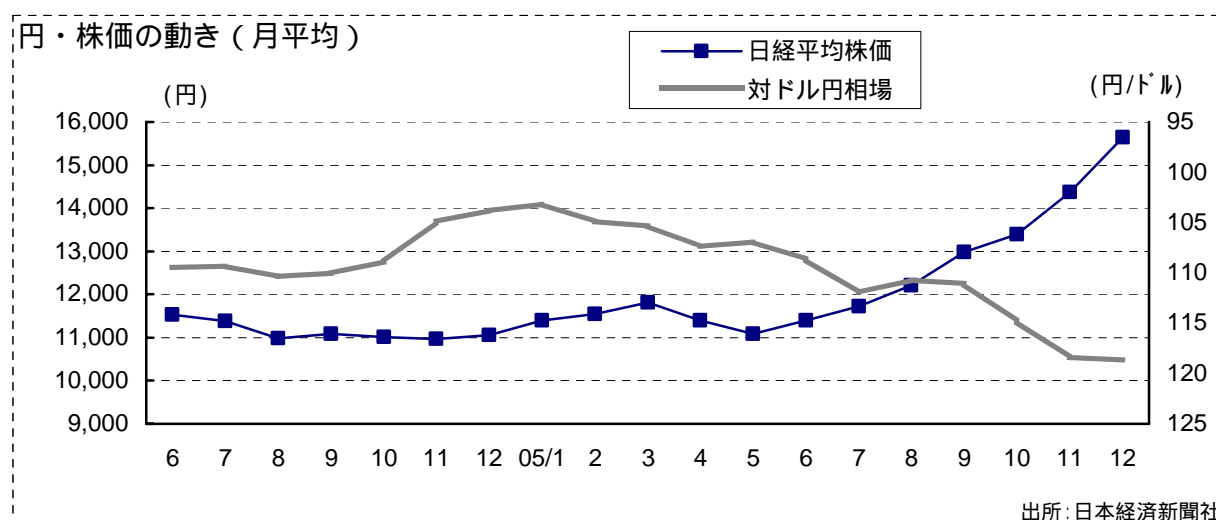
Tel : 06 - 6441 - 0102 Fax : 06 - 6441 - 0443

内閣府が今月発表した月例経済報告は、先月の「緩やかに回復している」から一歩進んだ表現となり、「景気は回復している」と基調判断した。輸出・生産についても「持ち直している」から「緩やかに増加している」と一歩進んだ表現に変更され、日本の好調な経済情勢が示されている。

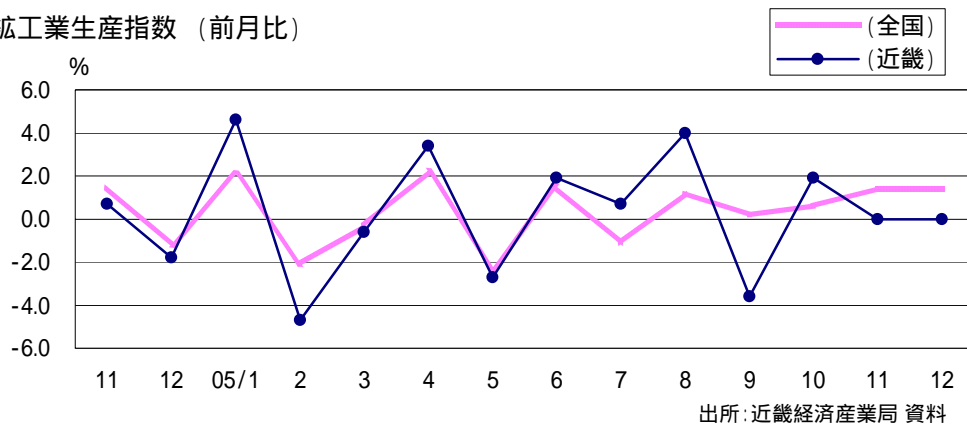
昨今の景気回復は大企業中心のものであったが、中小企業の町、東大阪市でも景況に改善が見られていることが伝えられている。東大阪市が実施した平成 17 年 10 月～12 月期の市内中小企業動向調査によると、製造業では景況 DI (前年同期比) が 3 四半期連続で上昇、今期は大幅に改善し、1 年ぶりのプラスとなっている。来期以降の見通し DI (前年同期比) についても大幅改善し、1 年 1 四半期ぶりにプラスとなった。非製造業においても業況 DI が大幅に好転し、来期以降の見通し DI についても 1 年 3 四半期ぶりにプラスとなっている。景気の回復傾向の中小企業への浸透が見られたことは、関西地域として非常に力強く頼もしい。

先の「第 44 回関西財界セミナー」でも、企業活動の原点に立ち返り、経営者自ら企業倫理や遵法意識の重要性を強く意識した社会的責任を果たす経営をすること、日本的経営の強みとされる現場力の向上に努め、現場の持つ技術・ノウハウと安全に対する意識を次世代へと確実に継承することが合意事項として採択されている。中小企業が数多く存在する関西経済の活力向上のためには、裾野が広がりだした景気回復の中で、企業活動の原点を忘れずに経営を進めていくことが必要不可欠である。

< 各指標の動き >

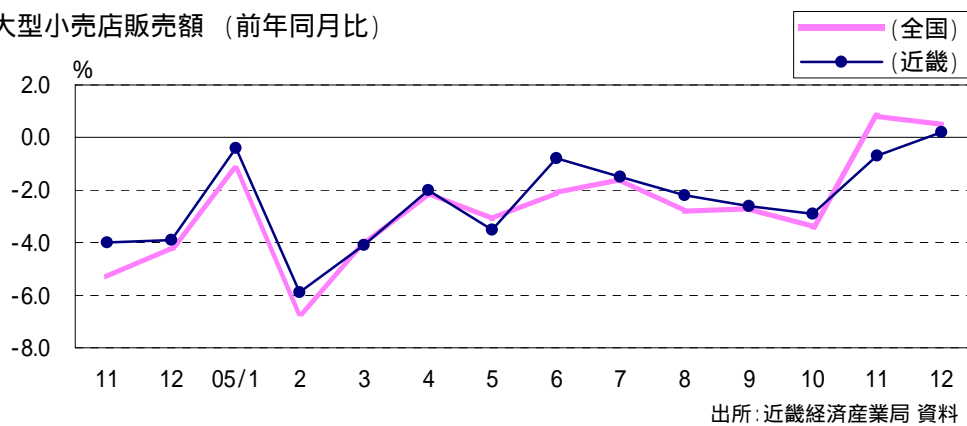


鉱工業生産指数（前月比）



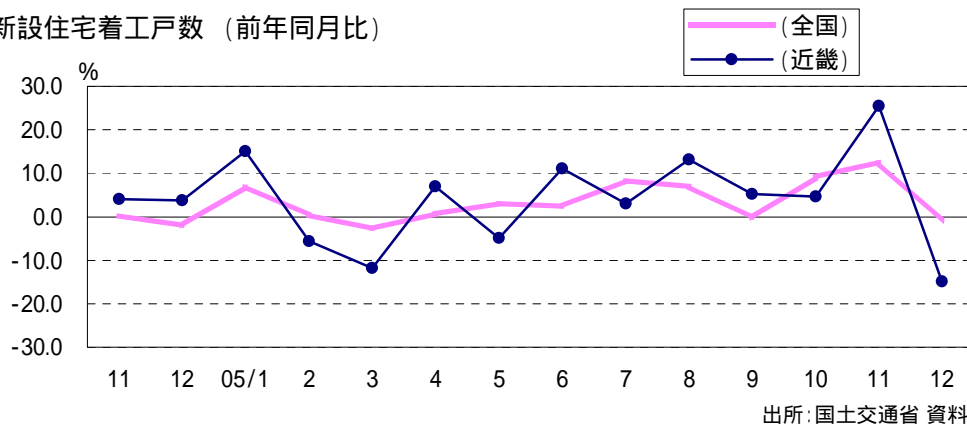
近畿は前月比 0.0%と横ばい。電子部品・デバイス工業、金属製品工業、精密機械工業などが上昇に寄与。生産は緩やかながら上昇している。

大型小売店販売額（前年同月比）



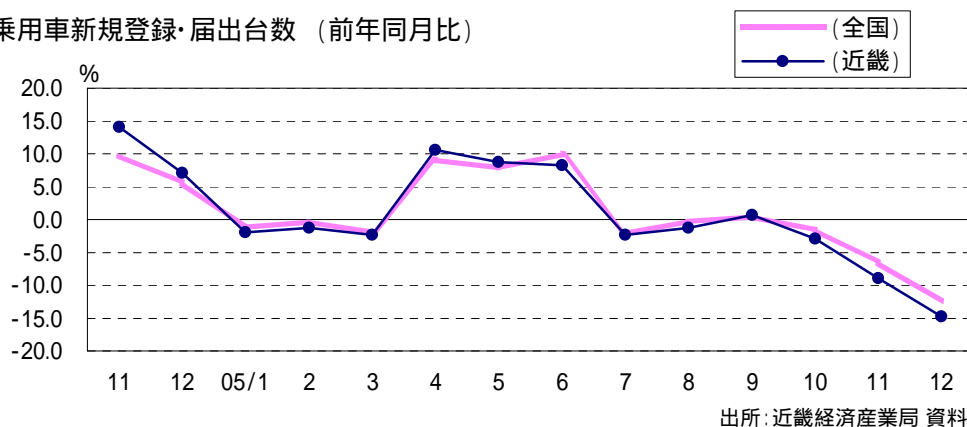
近畿は既存店ベースで前年同月比 0.2%増と 22 ヶ月ぶりのプラスとなった。記録的な低温により、冬物が好調に推移した「衣料品」などが上昇に寄与。

新設住宅着工戸数（前年同月比）



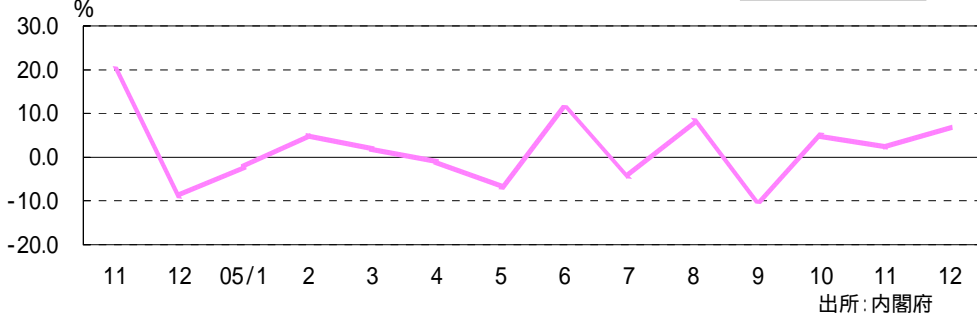
近畿は前年同月比 14.9%減と 7 ヶ月ぶりに前年を下回った。「分譲住宅」が同 23.6%減で 2 ヶ月ぶり、「持家」が同 7.6%で 3 ヶ月ぶり、「貸家」が同 2.3%減で 9 ヶ月ぶりにそれぞれ前年を下回った。

乗用車新規登録・届出台数（前年同月比）

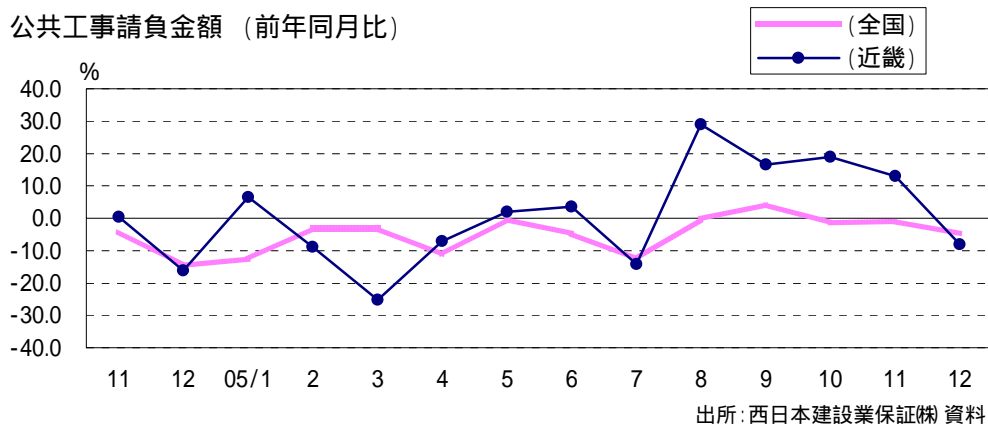


近畿は前年同月比 14.8%減と 3 ヶ月連続で前年を下回った。「普通車」が同 14.1%減で 6 ヶ月連続、「小型車」が 15.2%減で 3 ヶ月連続、「軽四車」が同 14.8%減で 9 ヶ月ぶりにそれぞれ前年を下回った。

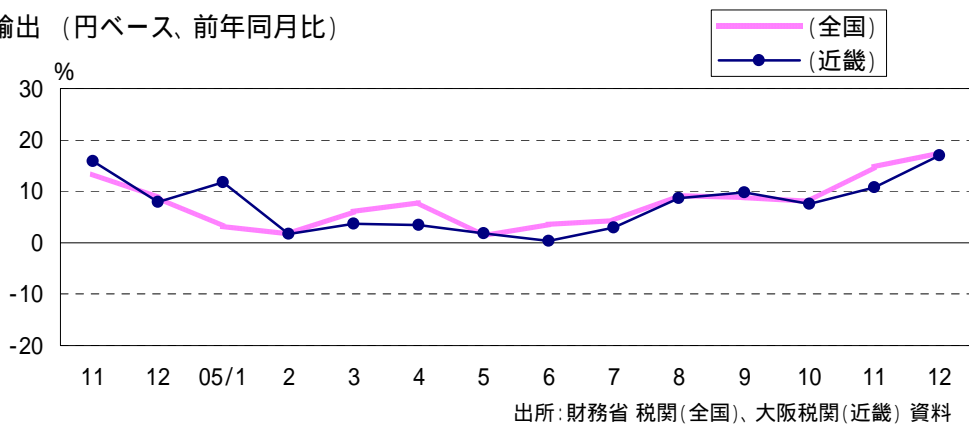
機械受注: 民需除く船舶、電力(前月比)



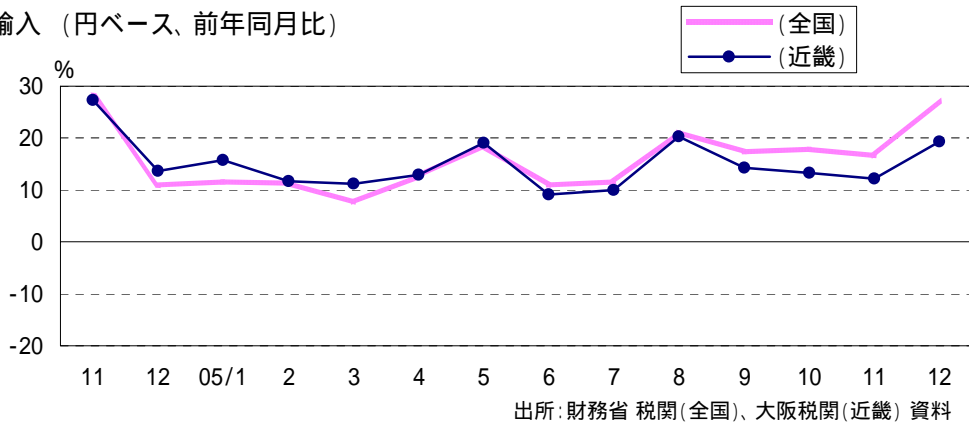
公共工事請負金額 (前年同月比)



輸出 (円ベース、前年同月比)



輸入 (円ベース、前年同月比)



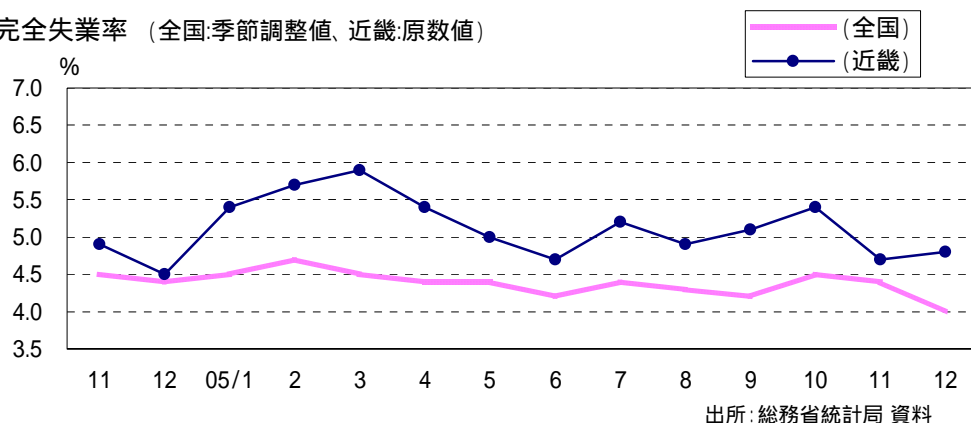
機械受注は前月比 6.8%増となった。業種別の受注は製造業が同 3.0%増、非製造業(船舶・電力を除く)は同 4.2%増となった。

近畿は前年同月比 8.1%減。神戸市開発管理事業団や大阪市営地下鉄 8 号線、阪神高速道路(京都)など前年度大型工事の反動で減少となっている。

近畿は前年比 17.0%増で 45 ヶ月連続のプラスとなった。半導体等電子部品の輸出が 27%増となった。輸出額は 17%増で過去最高を記録した。

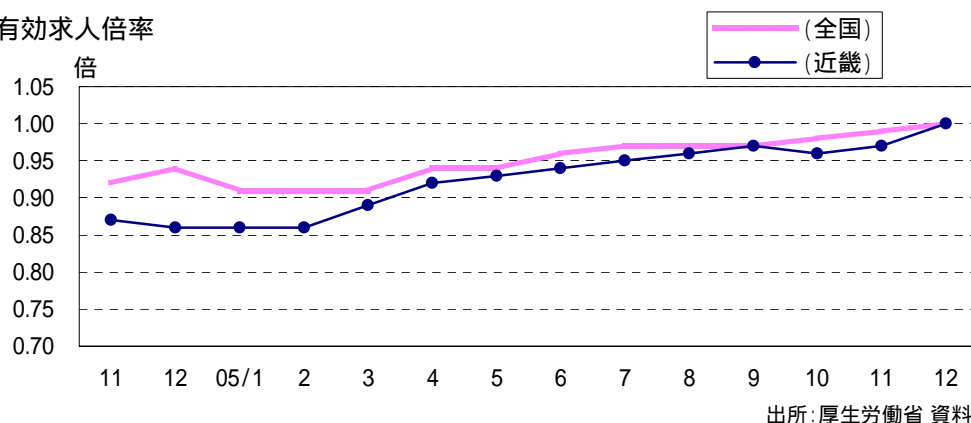
近畿は前年比 19.3%増、23 ヶ月連続のプラスとなった。原油高の影響により高い伸びが続いている。主要地域国(アメリカ、EU、アジア)はすべて輸出入ともプラス。

完全失業率 (全国:季節調整値、近畿:原数値)



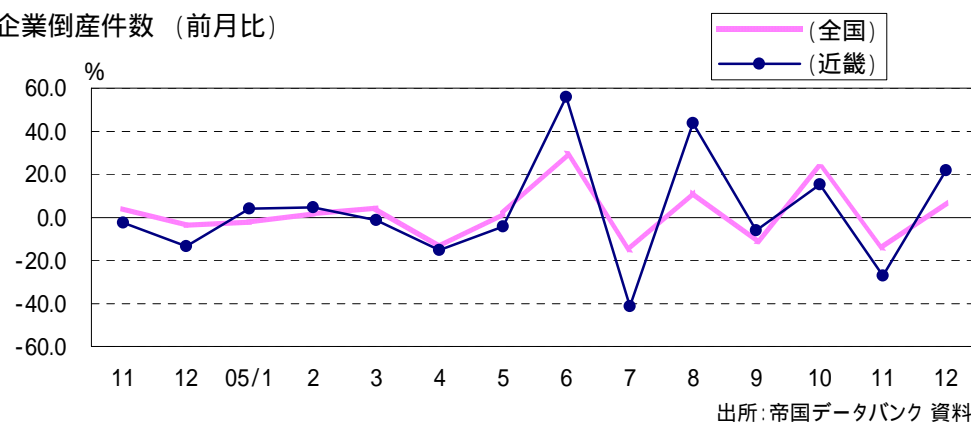
近畿は 4.8%で、2ヶ月ぶりに前年を上回った。引き続き厳しさが見られるものの、緩やかに改善している。

有効求人倍率



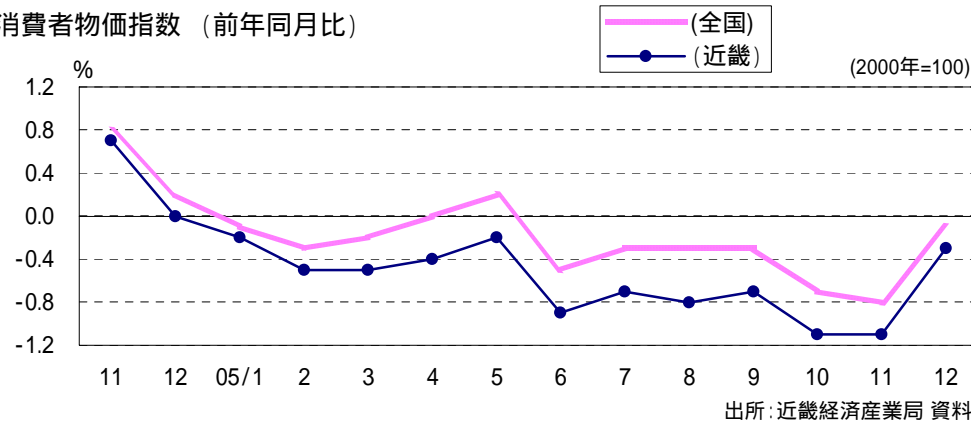
近畿は前月比 0.03ポイント上昇の 1.00倍で 2ヶ月連続の上昇となった。新規求人倍率は 1.62倍と 3ヶ月連続の上昇となっている。

企業倒産件数 (前月比)



近畿は 174件で前月比 21.7%増。負債 10億円以上の倒産は 7件発生。主要業種別では建設、食品、サービス、繊維などで大きく増加した。

消費者物価指数 (前年同月比)



近畿は 97.2 で前年同月比 0.3%減。前月比では 0.2%増となっている。家具・家事用品、食料などが低下している。